

# 大分県立芸術文化短期大学

## 公開授業2013

後期 受講者募集

お問い合わせ先 大分県立芸術文化短期大学 公開授業担当  
TEL:097-545-0542(平日9:00~17:00)

授業内容の詳細は、裏面をご覧ください。



「公開授業」は、大学の講義を県民の皆様公開して、学生と机をならべて学んでいただくという制度です。大学生と共に学んでみませんか!



実施期間

2013年 9月24日(火) ▶ 2014年 1月24日(金)

講義時間

| 1限         | 2限          | 3限          | 4限          | 5限          | 6限          |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 9:00~10:30 | 10:40~12:10 | 13:00~14:30 | 14:40~16:10 | 16:20~17:50 | 18:00~19:30 |

受講資格

高等学校卒業程度  
(証明書等の提出の必要はありません)

受講料

1科目につき9,000円  
(全15回 ※⑨データベース論のみ全10回)

募集締め切り

9月6日(金) 必着

注意事項

- 受けは先着順で、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
- 受け終了後、定員に満たない場合は、募集期間を延長することがあります。
- 指定期日までに受講料のお振り込みが確認できない場合は、受講資格が取り消しとなります。
- お振り込み後、受講を取りやめでも受講料の返金はいたしません。予めご了承ください。
- 授業の曜日及び時間(時限)は変更になる場合があります。
- 公開授業での単位の認定は行いません。
- 講座によっては受講料の他にテキスト代など他の費用が必要になる場合があります。
- 公開授業は授業時間内での学習を原則としており、授業時間外での質疑等には応じかねます。
- 受講生としてふさわしくない行為等があった場合は、受講を停止する場合があります。

受講までの流れ

下記の手順でお申し込み下さい。

### ①希望する授業を申し込む

受講申込書に必要事項を記入し、郵送・FAX・メール・ホームページからのいずれかで、裏面に記載してある宛先までお申し込みください。お電話によるお申し込みは受付けておりません。予めご了承ください。

### ②受講手続き案内書が届く

受講される授業、振込等に関してのご案内書を送付します。申し込み内容に間違いがないか等をご確認ください。授業開始1週間前になっても書類が届かない場合は、お電話にてご連絡ください。

### ③受講料を振り込む

案内書に記載されている期日までに受講料をお振り込みください。



### ④受講スタート!

いよいよ受講スタートです。記載されている日時・場所をご確認のうえ、受講してください。ご不明な点がございましたら、お気軽にご連絡ください。

キリトリ

2013年度後期 公開授業受講申込書 (コピー可)

|  |      |      |   |     |
|--|------|------|---|-----|
| ふりがな   |      |      | 性別  | 男・女 |
| 氏名   |      |      |   |     |
| 年齢   | 歳    | 職業   | <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 教員<br><input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業<br><input type="checkbox"/> その他( ) |     |
|  | 住所 〒 |      |   |     |
| 電話番号   | (自宅) | (携帯) |   |     |
| Fax番号  |      |      |   |     |
| E-mail   |      |      |   |     |
| 公開授業をどこでお知りになりましたか?<br><input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 口コミ <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> その他( ) |      |      |   |     |

※緊急連絡の際にも使用しますので、すべての項目を正確にご記入ください。

|      |      |
|------|------|
| 授業番号 | 授業科目 |
|------|------|

芸短公開授業受講申込先 FAX番号 097-545-0543

※本申込書に必要事項を記入の上、9月6日(金)までに、裏面に記載してある宛先までお申し込みください。  
 ※複数の授業を受講希望される方は、本様式をコピーして授業ごとにお申し込みください。  
 ※受講が決定し、案内書が届きましたら、記載の指定期日までに受講料をお支払いください。  
 ※ご記入いただきました個人情報、公開授業の運営に役立てるとともに、本学における生涯学習関係統計に利用しますが、それ以外に使用することはありません。

キリトリ



## 公開授業一覧



| 授業番号 | 授業科目                             | 曜日 | 時限 | 受講場所          | 定員 | 授業内容  | 学科                    | 担当教員              |
|------|----------------------------------|----|----|---------------|----|---|-----------------------|-------------------|
| ①    | 英語IB                             | 月  | 2  | 人文棟<br>第1語学教室 | 5  | 中学校・高等学校で学んだ基礎的な英語力をベースにして、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの英語の4技能を総合的に伸ばし、実践的英語力の向上を目指します。また、外国の人々と積極的にコミュニケーションを取る姿勢を養うこともこの授業の目的です。使用するテキストは、イギリスのBBCが制作したドキュメンタリーの映像を見ながら、英語を聞き、内容を理解する構成になっています。到達目標は「英語特有のリズムやイントネーションを反復練習し、自然な発音を身につける」「日常会話で使う英語表現をおぼえ、コミュニケーション力を高める」「基本的な文法の知識を補強しながら、英文を正確に読み、また書けるようになる」です。  | 国際総合学科                | 教授<br>入野 賀和子      |
| ②    | イングリッシュ・ライティング                   | 月  | 5  | 人文棟<br>205講義室 | 5  | The aims of this course are as follows:<br>1.Improve English writing skills by learning how to brainstorm topics,write cohesive paragraphs,and organize them into clear,logical compositions.<br>2.Increase knowledge of English vocabulary and expressions.<br>3.Foster creativity and introspection for the purpose of making writing in English enjoyable for oneself and one's readers. | 国際総合学科                | 准教授<br>ジュリー・ヌートバー |
| ③    | 教養ゼミナール<br>(現代詩を読む)              | 火  | 2  | 人文棟<br>野坂研究室  | 2  | この授業では、現代詩の代表的な作品を取り上げて、演習形式で丹念に読んでいきます。取り上げる詩人は、吉岡実、安東次男、関根弘、石垣りん、鮎川信夫などを予定しています。  | 国際総合学科                | 准教授<br>野坂 昭雄      |
| ④    | 文化交流史                            | 火  | 3  | 人文棟<br>102講義室 | 10 | ヨーロッパ勢力の海外進出と世界の一体化の過程で展開する文化的交流を、アジア、アメリカそれぞれの局面で検討し、近現代世界の成り立ちについて考えます。   | 国際総合学科                | 准教授<br>崎谷 憲洋      |
| ⑤    | メディア・コミュニケーション論                  | 火  | 3  | 人文棟<br>視聴覚室   | 5  | 学習環境が言語理解に特化する中で、双方向メディアとして登場したインターネットは、コミュニケーションの観点から見ると、その歴史を短期間に凝縮した形で進化を続けています。本講義では、多岐に亘るメディア(媒体)それぞれの特徴を捉え、現在まだ活かされていない特性とコンテンツとの関係性を学びます。到達目標は「メディアの歴史を知る」「影響力の大きなメディアの構造を理解する」「集団心理とマスメディアの関係を理解する」「メディアの未来形を描くことができる」です。   | 情報<br>コミュニケーション<br>学科 | 講師<br>狩谷 新        |
| ⑥    | 吹奏楽演習Ⅰ<br>※指導者及び団体に所属<br>している方対象 | 火  | 6  | 音楽棟<br>小ホール   | 30 | 基礎的な合奏(バンドスタディ)からオリジナル作品や編曲作品まで段階的に拡大し、アンサンブル能力や協調性を高めます。また、感性を磨き、指導法も体得します。到達目標は「基礎的な合奏を通じて、個人と全体の水準を向上させる」「他者の演奏を聞き、自らの和音やバランス感覚を向上させる」「様々な楽曲に応じた演奏表現を習得する」「指揮をすることと指導の進め方を行い、質問やコメントをする力を身につける」です。<br>※この授業は通年科目(30回)ですが、後期(15回)からの開放となっています。  | 音楽科                   | 教授<br>清水 万敬       |
| ⑦    | 現代日本論                            | 木  | 2  | 人文棟<br>視聴覚室   | 5  | この授業では、広島・長崎に投下された原子爆弾の表象について考えます。小説や詩、絵画、映画、マンガなどに描かれた原爆を取り上げて、受講者全員でグループに分かれて話し合う機会を設けます。なお、この授業の2回分を使って長崎への研修旅行(12月初旬の土日、費用は約15,000円)を実施しますので、これにも参加できることが望ましいです。ちなみに、この講義は「被爆者のメッセージの意味を学問的に学習することにより、核兵器の悲惨さや非人道性を認識し、被爆者がなぜ報復ではなく和解の道を歩んだかについて正しく理解することを目的」に開設された「広島・長崎講座」の一つです。  | 国際総合学科                | 准教授<br>野坂 昭雄      |
| ⑧    | 世界遺産論                            | 木  | 3  | 人文棟<br>102講義室 | 10 | 世界遺産について、その意義や重要性を認識するとともに、日本や世界の代表的な世界遺産を、高校で修得した地理・歴史の知識を確認しながら学習し、世界遺産についての理解を深め、観光系の科目を中心に今後の学習に生かせる基本的知識を習得します。また、ポルトガルを事例に、世界遺産を通しての歴史や文化の理解の仕方についても習得します。NPO法人世界遺産アカデミーが実施する「世界遺産検定」2級・3級受験への対策としても役立つ基本的知識の習得を目指します。  | 国際総合学科                | 准教授<br>崎谷 憲洋      |
| ⑨    | データベース論                          | 木  | 3  | 人文棟<br>201講義室 | 5  | 多くのデータから無駄なく重複なく、素早く欲しい情報を検索するデータベースの仕組みを知ることで、データの取り扱い、データの正当性、機密性について学びます。SQLでデータベースを取り扱うことで、関係データベースの具体的なイメージを掴みます。  | 情報<br>コミュニケーション<br>学科 | 教授<br>凍田 和美       |
| ⑩    | 少子高齢社会論                          | 木  | 3  | 人文棟<br>大講義室   | 5  | 私たちが生きる21世紀の前半は、我が国だけではなく先進諸国すべてで人口の高齢化と人口減少が起きています。その意味で現代社会は少子・高齢化・人口減少社会といえます。この講義は、高齢化社会の実態を科学的に分析して、私たちの社会が目指すべき方向を冷静に見つめていきたいと思います。   | 情報<br>コミュニケーション<br>学科 | 教授<br>吉良 伸一       |
| ⑪    | 西洋音楽史Ⅱ                           | 木  | 4  | 芸術棟<br>講義室A   | 10 | 前期の西洋音楽史Ⅰに続き、18世紀前古典派から20世紀までの西洋音楽史を概観します。  | 音楽科                   | 教授<br>小川 伊作       |
| ⑫    | 世界の美術                            | 金  | 1  | 人文棟<br>101講義室 | 10 | 美術には、単に「美しい」世界が表現されているだけではなく、さまざまなメッセージや明確な意図もこめられています。本講義ではこの問題について、西洋美術を中心に考察していきます。  | 美術科                   | 准教授<br>荻野 哉       |
| ⑬    | 楽書講読<br>※高校修了程度の英語力が必要           | 金  | 3  | 芸術棟<br>音楽講義室  | 5  | より高い音楽の学習能力を身につけるためには、音楽の専門書を読み解く力が必要とされます。その場合頻出する専門用語が内容理解の障壁となります。この授業では、理論用語を中心として、その解説を交えながら、専門書を読み解く力を養います。主に原書(英語)の読解を行いますので、高校修了程度の英語力が必要となります。   | 音楽科                   | 教授<br>小川 伊作       |
| ⑭    | 国際理解教育論                          | 金  | 3  | 人文棟<br>201講義室 | 5  | この授業では、平和・環境・開発・貧困・人権・文化など国際社会の抱える諸問題を取り扱います。とくに、開発教育など、ワークショップの手法を駆使し、個別的テーマについて体験的に考えることを目的としています。到達目標は、「国際社会の諸問題を体験的に理解する」「シミュレーションやロールプレイなどを通し、当事者の立場で考える」「ペアやグループで意見を共有し、協働して課題解決を考える」「考えたアイデアやアクションプランを他者に伝え、文章で表現する」です。  | 国際総合学科                | 准教授<br>玉井 昇       |
| ⑮    | スポーツと生活                          | 金  | 3  | 人文棟<br>大講義室   | 5  | この講義では、様々なスポーツに関する情報や知識を整理し考察することで、今後の健康、スポーツライフやスポーツ観戦に役立てることを目的とします。内容は「スポーツマンシップ」「スポーツのドラマ性」「スポーツとテレビ放送」「スポーツとルール」「スポーツの指導者」「運動部活動」「大分のスポーツ」「地域のスポーツ」「障がい者スポーツ」「女性のスポーツ」などです。  | 情報<br>コミュニケーション<br>学科 | 教授<br>洲 雅明        |
| ⑯    | ピアノ音楽史                           | 金  | 4  | 音楽棟<br>小ホール   | 3  | 本授業は、「W.A.モーツァルトがピアノソナタで使用した様々な形式の理解」「ベートーヴェンで確立されたソナタ形式を理解するとともに、ベートーヴェンの創作時期を考察し、作品番号付きピアノソナタ全曲の創作時期を把握」「ロマン派音楽の始祖とされるウエーバー、シューベルトの役割」「シューマンのピアノ作品」をおこないます。<br>※この授業は通年科目(30回)ですが、後期(15回)からの開放となっています。  | 音楽科                   | 准教授<br>石山 聡       |
| ⑰    | 音楽史特論A                           | 金  | 5  | 芸術棟<br>音楽講義室  | 5  | 年間を通して西洋音楽史上重要なトピックについて講じます。特に、音楽とそれを取り巻く環境の変化の相関関係に注目します。その際、楽譜、その他の一次資料・文献を活用し、通時的な観点と、それを裏付けるものとして音楽自体を関連づけていきます。今年度は、声楽音楽の歴史をテーマとします。<br>※この授業は通年科目(30回)ですが、後期(15回)からの開放となっています。  | 音楽科                   | 教授<br>小川 伊作       |
| ⑱    | 情報ネットワーク論                        | 金  | 5  | 人文棟<br>202講義室 | 5  | 急速に進化するコンピュータネットワークの現状と課題を理解することで、正しく安心して情報化社会に対応できる力を習得します。計算機ネットワークの始まりから現状の基本的な概念を学びます。到達目標は、「ネットワーク利用技術とセキュリティの知識を習得する」「正しいネットワークユーザとしての素養をもつ」です。   | 情報<br>コミュニケーション<br>学科 | 教授<br>凍田 和美       |

### お申し込み・お問い合わせ先

〒870-0833 大分市上野丘東1-11

**大分県立芸術文化短期大学 公開授業担当**

TEL 097-545-0542 (平日9:00~17:00)

FAX 097-545-0543

メール geitan-oc@oita-pjc.ac.jp

ホームページ www.oita-pjc.ac.jp

大分芸短  検索

